

新しい時代の新しい学び

1人1台専用タブレット端末の活用



学校での活用ポイント

より「主体的に」「対話的に」学びが変わります！

ひとりで学ぶ！

一人一人に適した内容を学習できます

阿佐ヶ谷中学校での活用方法



朝学習で、AIによる分析機能等があるデジタルドリルに取り組んでいます。

問題を解くとすぐに自動採点され、自分の学習理解度や弱点を確認することができます。

教員は記録された一人一人の学習理解度に応じた適切な指導を行うことができます。



自分のペースで問題を考え、学習進度や理解度を自分から確認することで、きめ細やかな個に応じた学びに変わります。

みんなで学ぶ！

一人一人の考えをリアルタイムで共有できます

方南小学校での活用方法



自分の考えをタブレット端末に書き込み、オンラインで教員に提出します。すると、電子黒板にその内容がすぐに映し出され、学級全員の考えが共有されます。

一人一人の考えを理解するために、タブレット端末を持って、児童同士で双方向の意見交換をします。



自分の考えとは違った多様な考えに触れることで、自分の考えを広げ、深めることのできる学びに変わります。

CHECK! これらの取り組みは、タブレット端末の活用方法の一例です。この他の小中学校についても、児童・生徒の可能性を引き出し、学びを豊かにする「文房具」としてタブレット端末の活用が始まっています。

教育委員会ホームページをご覧ください！

教育委員会ホームページ（右下2次元コード）では、今回紹介した学校以外のタブレット端末を活用した取り組みなどを随時掲載しています。

杉並区教育委員会



「杉並区教育ビジョン2022」(案)ができました

杉並で学ぶ子どもたちの未来に想像を膨らませながら、ぜひご意見をお寄せください。

詳細・全文は10・11ページをご覧ください



家庭での活用ポイント

学校と家庭がつながり、可能性がさらに広がります！

いつでも、どこでも学べる！

児童・生徒は、タブレット端末を持ち帰り、動画やデジタルドリルなどを用いて授業の予習・復習を行うことにより、各自のペースで継続的に学習に取り組むことができます。

家庭での活用例：端末を持ち帰ってできることは？

デジタルドリル

自分のレベルやペースに合わせた学習ができます。



動画学習

授業で分からない内容やより深く学びたい内容を動画で学習できます。



オンラインホームルーム

休校や長期の欠席の時でも、健康状態や課題を教員と共有できます。



学校に行けなくても

自宅から教員や友達と会話したり、オンラインで授業に参加したりできます。



保護者の皆さまは

保護者は、各家庭のスマートフォンなどから学校だよりの閲覧などができるようになり、新たな形で学校とつながることができます。

学校だよりの、行事予定等の受信
お便りの閲覧ができます。

欠席や遅刻等の連絡
電話や連絡帳でなくても学校への連絡ができます。

保護者会、学校関係者との会議
オンラインで実施できます。

新しい時代の、新しい学びの実現に向けて

教育長 白石 高士



タブレット端末は、これからの学校教育を支える基盤的なツールとなるものです。教育委員会は、タブレット端末を活用することにより、個々の特性や学習進度等に応じた「ひとりで学ぶ」とこと、他者との関わりを重視した「みんなで学ぶ」ことを、一体的に発展させていきたいと考えています。

学習面以外では、けが等により一定期間欠席する子どもたちが、自宅にいながら友達や先生と顔を合わせてやり取りをしたり、オンラインでリアルタイムに授業を受けたりすることで、これまでになかった新たなつながり方ができるようになりました。

タブレット端末の活用は、新たな学びの形を可能にしています。これからの予測しにくい未来を生き抜いていく子どもたちが自ら考え、主体的に問題を解決できる力を育てるとともに、自分の良さや可能性を認識しながら豊かな人生を切り拓いていけるよう、新しい時代の新しい学びを実現してまいります。

YouTubeで配信中！



8月1日からの広報番組「すぎなみスタイル」のテーマは「ICTの活用でこう変わる、子どもたちの学び」

今、学校教育の現場ではICTを基盤とした先端技術の活用が加速しています。国でGIGAスクール構想が掲げられるなか、今回は区のICTを活用した教育を区内の小中学校からレポートします。

視聴方法

- ・YouTube杉並区公式チャンネル
- ・J:COM東京 地上デジタル11ch (午前9時、正午、午後8時から毎日放送)



杉並区公式チャンネル

図 広報課